

基本となる都市像（交通像）・・・・・・・・・・たたき台

- 徒歩や自転車で、駅やバス停に行き、公共交通で必要な買い物や通院、レジャーが楽しめるようなまちになる。
- 街中では、頻度の高いバスやレンタサイクルなどで自由に行きたい所へ移動できる環境が整っている。
- 農村部の交流拠点には、パーク&ライド施設を持った公共交通のターミナルが整っており、都市との交流が活発に行われている。
- 交通不便地域や交通空白地域では、地域住民も参加した交通サービスが行われており、きめの細かな独自のサービスでコミュニティの要となっている。
- 環状道路などバイパス機能を発揮する道路が整備され、深刻な渋滞や通過交通の生活空間への流入などの問題が解消され、バスも定時性を保って運行している。

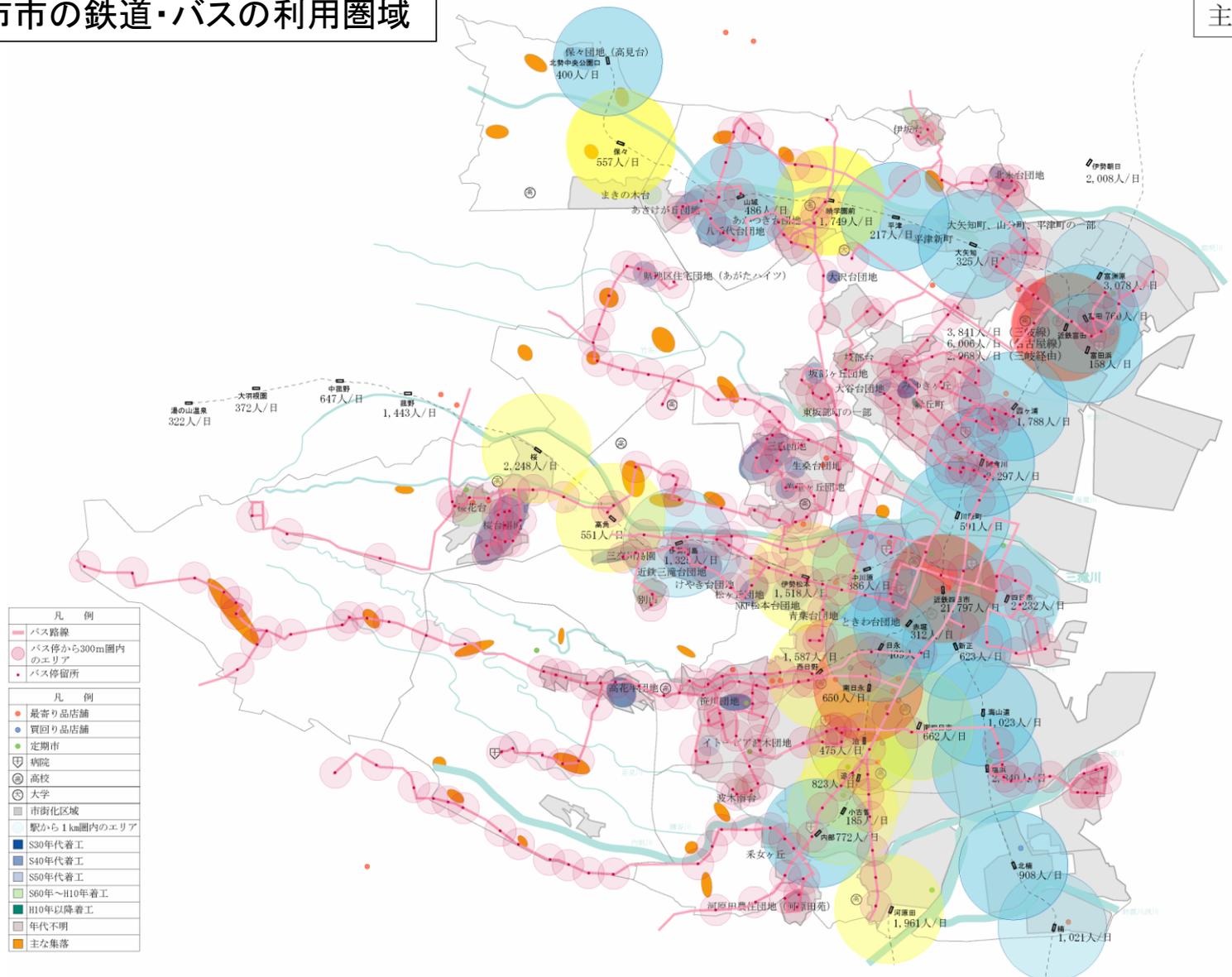


骨格となる公共交通網の共有

実現に向けた戦略のアイデアを抽出

四日市市の鉄道・バスの利用圏域

主要施設分布図



四日市市の鉄道・バスの利用圏域と人口分布

